



ボッシュ株式会社 電動工具事業部

ホームページ : <http://www.bosch.co.jp>
〒150-8360 東京都渋谷区渋谷 3-6-7

コールセンターフリーコール
0120-345-762

(土・日・祝日を除く、午前 9 : 00 ~ 午後 5 : 30)

* 携帯電話からお掛けのお客様は、TEL. 03-5485-6161
をご利用ください。コールセンターフリーコールのご利用
はできませんのでご了承ください。



1 609 92A 5YN

1 609 92A 5YN (2020.10)

レーザー距離計 GLM 50-27 CG



BOSCH

取扱説明書

このたびは、弊社レーザー距離計をお買い求めいただき、誠にありがとうございます。

- ご使用になる前に、この『取扱説明書』をよくお読みになり、正しくお使いください。
- お読みになった後は、この『取扱説明書』を大切に保管してください。わからないことが起きたときは、必ず読み返してください。

- 本取扱説明書に記載されている、日本仕様の能力・型番などは、外国語の印刷物とは異なる場合があります。
- 本製品は改良のため、予告なく仕様等を変更する場合があります。
- 製品のカatalog請求、その他ご不明な点がございましたら、お買い求めになった販売店または弊社までお問い合わせください。



目次

● 安全規則	3
警告表示の区分	3
一般的な電動機械の安全性に関する警告	4
記号について	7
● 安全上のご注意.....	8
コードレス電動機械全般についての注意事項	8
レーザー距離計についての注意事項.....	13
● 本製品について.....	17
用 途.....	17
各部の名称	17
仕 様.....	20
標準付属品	22
別売アクセサリ	23
● 使い方.....	24
作業前の準備をする	24
作業する	31
他の機器へのデータ転送.....	59
レーザー距離計の精度チェック.....	61
● バッテリーを長持ちさせるために	65
● リサイクルのために	65
使用済みバッテリーのリサイクルにご協力ください	65

● お手入れと保管.....	66
お手入れと保管	66
廃 棄.....	66
● 困ったときは.....	67
故障かな?と思ったら	67
修理を依頼するときは	70

安全規則

警告表示の区分

ご使用上の注意事項は 、、 に区分していますが、それぞれ次の意味を表わします。



- ◆ 誤った取り扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が大きい内容のご注意。



- ◆ 誤った取り扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。



- ◆ 誤った取り扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

なお、に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

一般的な電動機械の安全性に関する警告



電動機械とともに提供される全ての安全上の警告、指示、図解および仕様をお読みください。

次に示す全ての指示に従わない場合には、感電、火災および重傷を負う恐れがあります。

必要に応じて読むことができるように、全ての警告および指示を後日のために保管してください。

次に示す全ての警告における“電動機械”という用語は、電源式（コード付き）電動機械または、電池式（コードレス）電動機械を示す。

a) 一般的な電動機械の安全性に関する警告－作業場

- 1) 作業場は整理整頓し、十分に明るくしてください。散らかった暗い場所では作業すると事故の原因となります。
- 2) 爆発を誘引することがある可燃性液体、ガスまたは粉じんがある場所では、電動機械を使用しないでください。電動機械から発生する火花は、粉じんまたは蒸気（ヒューム）を発火させることがあります。
- 3) 電動機械の使用中は、子供および第三者を近付けないでください。注意が散漫になって、操作に集中できなくなることがあります。

b) 一般的な電動機械の安全性に関する警告－電気的安全性

- 1) 電動機械の電源プラグは、電源コンセントに合ったものを使用してください。また、電源プラグを改造しないでください。アダプタープラグを接地した電動機械と一緒に使用しないでください。改造していない電源プラグおよびそれに対応する電源コンセントを使用することで、感電のリスクは低減されます。
- 2) パイプ、暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫などの接地されたものと、身体を接触させないでください。
身体が接地されたものと接触した場合、感電する恐れがあります。
- 3) 電動機械を雨または湿気のある状態にさらさないでください。電動機械に水が入ると、感電する恐れがあります。

- 4) コードを乱暴に扱わないでください。コードを引っ張って電動機械を引き寄せたり、または電源プラグを抜くためにコードを引っ張らないでください。コードを熱、油、鋭利な角または動いているものに接触させないでください。コードが損傷したり絡まったりすると、感電する恐れがあります。
- 5) 電動機械を戸外で用いる場合は、戸外の使用に適した延長コードを使用してください。戸外の使用に適したコードを使用することで、感電のリスクは低減されます。
- 6) 電動機械を湿った場所で用いることが避けられない場合、漏電遮断器(RCD)によって保護された電源を使用してください。漏電遮断器(RCD)を使用することで、感電のリスクは低減されます。

c) 一般的な電動機械の安全性に関する警告－人的安全性

- 1) 電動機械の使用中は、油断をせず、現在、自分が何をしているかに注意してください。電動機械の使用中は、自らの動作に対する作業安全を常に考慮してください。疲れていたり、アルコールまたは医薬品を飲んでいる場合は、電動機械を使用しないでください。電動機械の使用中的一瞬の不注意で、深刻な人的傷害を引き起こす恐れがあります。
- 2) 安全保護具を使用してください。常に、保護めがねを装着してください。防じんマスク、滑り防止安全靴、ヘルメット、耳栓などの安全保護具を適切に用いることで、傷害事故を低減することができます。
- 3) 意図しない始動を避けるため、スイッチに指をかけて電動機械を運ばないでください。電源プラグを差し込む前に、スイッチが“切”の位置にあることを確認してください。スイッチに指をかけて電動機械を運んだり、スイッチが“入”の位置になった電動機械の電源プラグを差し込むと、意図せず始動し事故の原因となる恐れがあります。
- 4) 電動機械の電源を入れる前に、調整キーまたはレンチを外してください。電動機械の回転部分に調整キーまたはレンチを付けたままにしておくと、人的傷害を引き起こす恐れがあります。
- 5) 無理な姿勢で作業しないでください。常に適切な足場およびバランスを維持してください。これによって、予期しない状況でも電動機械を適切に操作することができます。

- 6) だぶだぶの(余裕のある)衣服または装飾品は身に付けず、きちんとした服装で作業してください。髪、服および手袋を回転部分に近付けないでください。だぶだぶ(余裕のある)の衣類、装飾品または長髪で作業をすると、回転部に巻き込まれる恐れがあります。
- 7) 集じん装置が接続できるものは、適切に使用してください。これらの装置を使用することによって、粉じん関連の危険を低減することができます。
- 8) 電動機械を使い慣れていても、安全性に注意して作業してください。不注意な行動は、重大な傷害を引き起こす恐れがあります。

d) 一般的な電動機械の安全性に関する警告－バッテリー 電動機械の使用および手入れ

- 1) 弊社が指定する充電器およびバッテリーの組み合わせ以外では充電しないでください。
指定する充電器およびバッテリーの組み合わせ以外で充電すると、火災を発生する恐れがあります。
- 2) 電動機械は、指定するバッテリー以外は、使用しないでください。指定していないバッテリーを使用すると、人的被害および火災のリスクを生じる恐れがあります。
- 3) バッテリーを使用しないときは、クリップ、硬貨、鍵、釘、ネジなどの金属物、または端子間を短絡する恐れがあるその他の小さな金属物と分けて保管してください。バッテリー端子の短絡によって、やけどまたは火災を生じる恐れがあります。
- 4) 過度な条件の下では、バッテリーから液体が漏えいすることがあります。バッテリーから漏えいした液体への接触は避けてください。漏えいした液体に接触した場合は、水で洗い流してください。液体が目に入った場合は、医師にご相談ください。バッテリーから漏えいした液体は、炎症またはやけどの原因となる恐れがあります。
- 5) 破損または改造したバッテリーや電動機械を使用しないでください。使用すると、火災や爆発、若しくはけが、予期しない動作を生じる恐れがあります。
- 6) 火または高温にバッテリーや電動機械をさらさないでください。火または130℃以上の温度にさらすと爆発する恐れがあります。

- 7) 取扱説明書の指示に従って充電してください。取扱説明書で指定する温度範囲外では、バッテリーまたは電動機械を充電しないでください。不適切または指定範囲外の温度で充電すると、バッテリーが損傷し、火災の危険が増大します。

e) 一般的な電動機械の安全性に関する警告－修理

- 1) 電動機械の修理は、資格を有する修理要員に純正交換部品だけを用いて修理するよう依頼してください。これによって、電動機械の安全性が維持できます。
- 2) 損傷したバッテリーは、修理しないでください。損傷したバッテリーの修理は、弊社または認定整備業者に依頼してください。

記号について

本機には下記の記号が表示されています。

記号の意味を十分理解して本機を使用してください。

	直流
	使用する前に、取扱説明書を全てお読みください。
Li-Ion	リチウムイオンバッテリー
	レーザー放射警告表示

安全上のご注意

- ◆ 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐため、次に述べる『安全上のご注意』を必ず守ってください。
- ◆ ご使用前に、この『安全上のご注意』すべてをよくお読みのうえ、指示に従って正しく使用してください。
- ◆ お読みになった後は、ご使用になる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。
- ◆ 他の人に貸し出す場合は、一緒に取扱説明書もお渡しください。

コードレス電動機械全般についての注意事項

ここでは、コードレス電動機械全般の『安全上のご注意』について説明します。

危 険

- リチウムイオンバッテリーを使用する際は、ボッシュ専用のバッテリーを使用してください。
 - ◆ この取扱説明書に記載されているバッテリー以外は充電しないでください。
 - ◆ 改造したバッテリー（分解して、セルなどの内蔵部品を交換したバッテリーを含む）を使用しないでください。
本体の性能や安全性を損なう恐れがあり、けがや故障、発煙、発火などの原因になります。
- バッテリーを火中に投入したり、加熱したりしないでください。

- バッテリーに釘を刺したり、衝撃を与えたりしないでください。
 - ◆ 内部で短絡してバッテリーが焼けたり、煙を出したり、破裂、オーバーヒートする危険があります。
- バッテリーの端子部を金属などに接触させないでください。
 - ◆ バッテリーを金属と一緒に工具箱や釘袋などに保管しないでください。
- 本体やバッテリーを火のそばや炎天下などの高温の場所で充電・使用・保管・放置しないでください。
 - ◆ 発熱・発火・破裂・バッテリーの液漏れの恐れがあります。
- 専用の充電器以外では、充電しないでください。
 - ◆ 他の充電器でバッテリーを充電しないでください。
バッテリーの液漏れや発熱、破裂の恐れがあります。
- バッテリーを分解したり、改造したりしないでください。
 - ◆ 短絡の恐れがあります。
- バッテリーを水のような導電体に浸さないでください。
また、バッテリー内部に水のような導電体を浸入させないでください。
 - ◆ 発熱、発火、破裂の恐れがあります。



警 告

●正しく充電してください。

- ◆ バッテリーは、取扱説明書の指示に従って充電してください。
- ◆ 充電器は、定格表示してある電源で使用してください。直流電源やエンジン発電機では、使用しないでください。
- ◆ 仕様に記載されている推奨充電周囲温度範囲外で、バッテリーを充電しないでください。
- ◆ バッテリーは、換気の良い場所で充電してください。充電中、バッテリーや充電器を布などで覆わないでください。
- ◆ 充電器を使用しない場合は、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。
- ◆ 不適切に充電したり、指定された範囲外の温度で充電すると、バッテリーが破損したり、火災が発生したりする恐れがあります。

●感電に注意してください。

- ◆ ぬれた手で電源プラグに触れないでください。

●使用時間が極端に短くなったバッテリーは使用しないでください。

●ご使用済みのバッテリーは、一般家庭ゴミとして捨てないでください。

捨てられたバッテリーが、ゴミ収集車内などで破壊されてショートし、発火・発煙の原因になる恐れがあります。

●充電式でないバッテリー（マンガン乾電池等）は、充電しないでください。

- 作業領域に電線管や水道管、ガス管などが埋設されていないか、公益事業者へ連絡をして、助言を求めてください。

作業後、各種の管類が破損していないか確認してください。

- ◆埋設物があると、先端工具が触れたとき事故の原因になります。
電気配線との接触は、発火や感電につながる恐れがあります。
ガス配管の損傷は、爆発につながる恐れがあります。
水配管の貫通は、器物破損の原因になります。

- 作業中に本体の調子が悪くなったり、異常音がしたりしたときは、直ちにスイッチを切ってください。使用を中止し、お買い求めの販売店またはボッシュ電動工具サービスセンターに点検・修理を依頼してください。

- ◆そのまま使用していると、事故の原因になります。

- 誤って落としたり、ぶつけたりしたときは、本体や付属品などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。

- ◆破損や亀裂、変形があると、事故の原因になります。

- フル充電されたバッテリーを複数個続けて使用する作業では、本体が冷めるための時間を設けてください。

- ◆複数個による連続作業は、本体に支障をきたすばかりでなく、本体の温度を上昇させて低温やけどをする恐れがあります。

- 損傷したバッテリーを使用したり、不適切な使い方をしたりしないでください。バッテリーから蒸気が発生する場合があります。

蒸気が発生したときは、直ちに周囲を換気し、医者 の 診 断 を 受 け て く だ さ い。

◆ 蒸気は呼吸器を刺激する恐れがあります。

● 搬送について

内蔵のリチウムイオンバッテリーは危険物法令条件に該当しますが、お客様自身で陸送される場合はそれ以上の制約はありません。

第三者が運搬する場合（例えば空輸あるいは代理店経由）、特別な梱包とラベルの明記が必要です。出荷準備をされる際、有害物質取り扱いの専門家に相談してください。

注 意

- 高所作業のときは、下に人がいないことをよく確かめてください。

◆ 材料や機体などを落としたときなど、事故の原因になります。

- 電源プラグやコードが損傷した充電器や、落としたり何らかの損傷を受けた充電器は使用しないでください。

- 破損した保護カバー、その他の部品交換や修理については、お買い求めの販売店、またはボッシュ電動工具サービスセンターにお問い合わせください。

この取扱説明書は、大切に保管してください。

レーザー距離計についての注意事項

コードレス電動機械全般の『安全上のご注意』について、前項では説明しました。

ここでは、レーザー距離計をお使いになるうえで、さらに守っていただきたい注意事項について説明します。



警 告

- **レーザー光を人や動物に向けたり、直接のぞいたりしないでください。**

- ◆ 本機はレーザークラス2 (EN60825-1準拠) のレーザー光を発光します。

レーザー光が目に入ると視力に影響を及ぼす場合があります。

- **取扱説明書に記載された使用方法に従って使用してください。**

- **取扱説明書およびボッシュ電動工具カタログに記載されている付属品やアクセサリ以外は使用しないでください。**

- **レーザーメガネを保護メガネとして使用しないでください。**

- ◆ レーザーメガネはレーザー光の視認を助けるものであり、レーザー光から目を保護するものではありません。

- **レーザーメガネをサングラスとして使用したり、道路交通上で着用したりしないでください。**

- ◆ レーザーメガネでは紫外線からの完全な保護はできません。またレーザーメガネは色の認識力を低下させます。

- 本機を分解・改造しないでください。
- 測定を行う場合は安全な測定場所を確保してください。
 - ◆ 爆発の危険性のある環境（可燃性液体、ガスおよび粉じんのある場所）では使用しないでください。本機から火花が発生し、粉じんや蒸気に引火する恐れがあります。
- レーザー光が他人や動物、自分に向いていないことを確かめて、本機を設置してください。
- 本機に強い衝撃を与えたり、落としたりしないでください。
- 誤って落としたり、ぶつけたりしたときは、本機に破損や亀裂、変形がないことをよく確認してください。
- 本機を湿気の多い場所や直射日光の当たる場所に、放置しないでください。
- 本機を極度に高温または低温になる場所や、急激な温度変化のある場所では、使用しないでください。
- 使用中に異常が疑われるときには、直ちに使用を中止し、お買い求めの販売店またはボッシュ電動工具サービスセンターに点検を依頼してください。

- 本機をBluetooth[®]機能が有効な状態で使用する場合、他の機器、システム、航空機、医療機器（例、心臓ペースメーカー、補聴器）との干渉が起きることがあります。また、人間や動物に傷害を与える恐れの可能性は完全に排除することはできません。医療機器、ガソリンスタンド、化学工場、爆発の危険性のある場所、爆風に曝される場所などの近くや航空機内で本機をBluetooth[®]が有効な状態で使用しないでください。

注 意

●使用前に、本機に損傷がないか点検してください。

- ◆ 使用前に、本機に損傷がないか十分に点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。

●無理な姿勢で作業しないでください。

- ◆ 常に足元をしっかりさせ、バランスを保つようにしてください。

●子供を近づけないでください。

- ◆ 目の届かない場所で、子供に本機を使用させないでください。レーザー光が他者や子供自身の目に入ると、視力に影響を及ぼす場合があります。

●使用しない場合は、きちんと保管してください。

- ◆ 子供や製品知識を持たない方の手の届かない安全な所、または鍵の掛かる所に保管してください。

●点検は、必ずお買い求めの販売店、またはボッシュ電動工具サービスセンターにお申し付けください。

- ◆ 点検の知識や技術のない方が点検しますと、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因になります。
- ◆ サービスマン以外の方は、分解したり修理したりしないでください。

この取扱説明書は、大切に保管してください。

本製品について

用 途

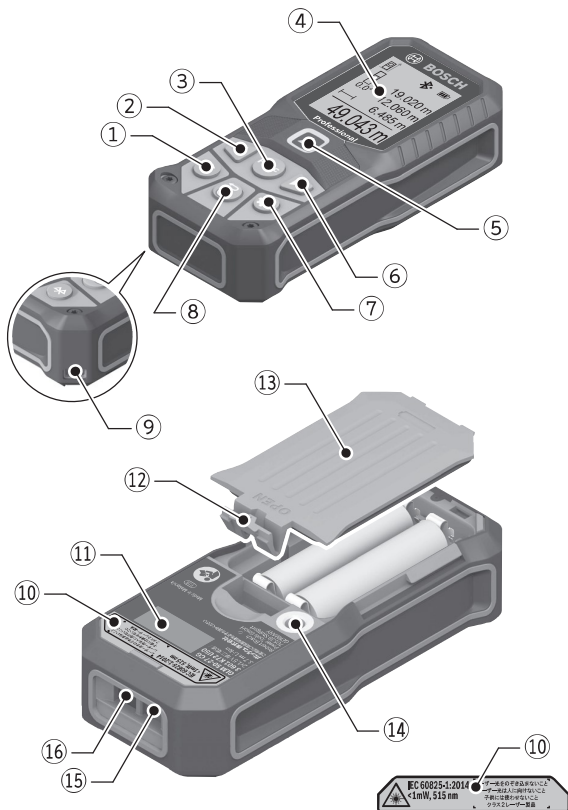
- ◆ 距離測定、長さ測定、高さ測定、隙間測定、傾斜測定、面積測定、体積測定
- ◆ Bluetooth®による測定結果の転送

Bluetooth®のマークとロゴは、Bluetooth SIG Inc.の登録商標であり、Robert Bosch Power Tools GmbHは商標使用の許諾を得てこれらを使用しています。

※ 屋内使用に適しています。

各部の名称

- | | |
|----------------|-------------|
| ①Bluetoothボタン | ⑨ストラップ取り付け穴 |
| ②減算ボタン | ⑩レーザー警告ラベル |
| ③機能 (Func) ボタン | ⑪シリアル番号 |
| ④ディスプレイ | ⑫電池収納カバーロック |
| ⑤測定スタートボタン | ⑬電池収納カバー |
| ⑥加算ボタン | ⑭1/4"ネジ穴 |
| ⑦設定ボタン | ⑮受光レンズ |
| ⑧電源ボタン | ⑯レーザー出力部 |

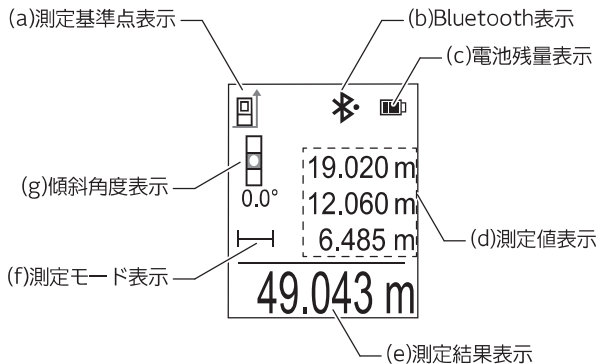


◆イラストの形状・詳細は、実物と異なる場合があります。

ディスプレイ

メイン画面

電源を入れたとき、測定するとき



◆イラストの形状・詳細は、実物と異なる場合があります。

仕 様

本 体

型 番	GLM 50-27 CG
測定可能範囲 距離測定 (標準) 距離測定 (測定に不利な環境下) ピタゴラス測定の傾斜 傾斜測定	0.05～50m*1 0.05～20m*2 0～360° (4×90°) 0～360° (4×90°)
測定精度 距離測定 (標準) 距離測定 (測定に不利な環境下) 傾斜測定 (標準)	±1.5mm*1 ±3.0mm*2 ±0.2°*3,*4
最小測定単位 距離測定 傾斜測定	0.5mm 0.1°
作業可能周囲温度範囲	-10～+45℃*5
保管可能周囲温度範囲	-20～+70℃
充電可能周囲温度範囲	0～+60℃
最大相対湿度	90%
使用可能標高	2000m (最高)
レーザークラス	クラス2
レーザーの種類	515nm、<1mW
レーザービーム拡がり角	<1.5mrad (全角)
自動電源オフ (測定を行わなかった場合) レーザー光 本 体	約20秒 約5分*6
防じん・防水構造	IP65*7
質 量*8	170g
寸 法	119×53×29mm

電 源	単3形アルカリ乾電池2本 充電式ニッケル水素単3形電池2本 ボッシュリチウムイオンバッテリー
測定単位	m/cm
汚染度	2*9
データ転送 <i>Bluetooth</i> ® 周波数 最大送信出力	<i>Bluetooth</i> ® Low Energy*10 2402~2480MHz 8mW

- *1 弱い逆光、使用温度25℃のとき、前方端基準の測定で、反射率が高い測定対象物（白塗の壁など）の場合。偏差は、±0.05mm/mを増減します。
- *2 強い逆光、使用温度25℃のとき、前方端基準の測定で、反射率が高い測定対象物（白塗の壁など）の場合。偏差は、±0.15mm/mを増減します。
- *3 0°および90°で校正後、傾斜角45°までの偏差は±0.01°/度を増減します。
傾斜測定の測定基準は、本機の左側面です。
- *4 使用温度25℃のとき。
- *5 連続測定モードのとき、使用温度は40℃までになります。
- *6 *Bluetooth*®未使用時
- *7 本体に電池収納カバー、ボッシュリチウムイオンバッテリーを装着した場合。
- *8 EPTAプロシージャー01/2014に準拠
- *9 非導電性の汚染は発生するが、たまたま結露によって一時的に導電性が引き起こされることが予想されます。(IEC61010-1)
- *10 転送先の機種やOSによっては、*Bluetooth*® Low Energy通信できないことがあります。*Bluetooth*®機器には、GATTプロファイルのサポートが必要です。

お客様のレーザー距離計のシリアル番号は、銘板に記載されています。
(17ページ「各部の名称」参照)

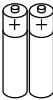
本機は、日本の電波法および電気通信事業法の規格に準拠しています。
分解・改造しないでください。(分解・改造すると認証番号は無効になります)

ボッシュリチウムイオンバッテリー(別売品)

定格電圧	D.C.3.7V
バッテリー容量	1.0Ah
充電時間 空→約80% 空→フル充電	約1時間50分 約3時間30分



標準付属品

型 番	GLM 50-27 CG
 単3形アルカリ乾電池(テスト用)	2本
 キャリングバッグ	1個

◆イラストの形状・詳細は、実物と異なる場合があります。

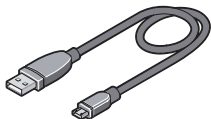
別売アクセサリ



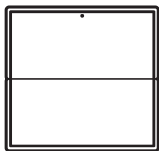
ベルトクリップ



リチウムイオンバッテリー



充電用USBケーブル



レーザーターゲットプレート



レーザーメガネ



三脚

◆イラストの形状・詳細は、実物と異なる場合があります。

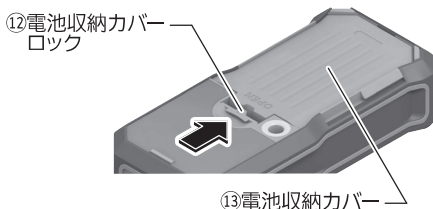
使い方

作業前の準備をする

● 電池を取り付ける・取り外す

取り付け

1. 電池収納カバーロック⑫を矢印の方向に押し、電池収納カバー⑬を取り外します。

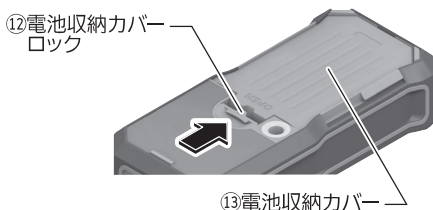


2. 電池収納部の表示に従い、電池の向きに注意して、電池を取り付けます。
 - ☞ 電池を交換するときは、電池を2本セットで交換してください。この際、メーカーおよび容量の異なる電池を使用しないでください。
 - ☞ 付属されている電池は作動テスト用です。
3. 電池収納カバー⑬のツメを本体の凹部に差し込み、電池収納カバー⑬を上から押し込んで取り付けます。

- ☞ 長時間にわたって本機をご使用にならない場合は、本体から電池を取り外してください。長時間にわたって放置すると、電池の腐食および自然放電につながります。
- ☞ 電池残量が少なくなると、ディスプレイ④に「バッテリーセーブモード」を“入”にするよう、メッセージが表示されます。
「バッテリーセーブモード」を“入”にすると、稼働時間が延長されます。
また、ディスプレイ④の電池残量表示cの輪郭が緑色になります。
- ☞ 電池残量表示cが□になってから、数回測定ができます。
- ☞ 電池残量表示cの□が赤く点滅したら、測定できません。電池を交換してください。

取り外し

1. 電池収納カバーロック⑫を矢印の方向に押し、電池収納カバー⑬を取り外します。



2. 電池を取り外します。
3. 電池収納カバー⑬のツメを本体の凹部に差し込み、電池収納カバー⑬を上から押し込んで取り付けます。

● ボッシュリチウムイオンバッテリー(別売品)を使用する

☞ 本製品には、バッテリー・充電用USBケーブルは付属されておりません。別途お買い求めください。

使用可能なバッテリー・充電用USBケーブルの品番は、ボッシュ電動工具カタログを参照いただくか、弊社コールセンターフリーコールまでお問い合わせください。(フリーコールの番号は、本取扱説明書の裏表紙に記載されています。)

バッテリーを点検する

- バッテリーは弊社指定のものか？
- バッテリーから液漏れが発生していないか？
- バッテリー端子が傷んでいたり、汚れていたりしていないか？
- バッテリーは十分に充電されていて、消耗していないか？

充電する



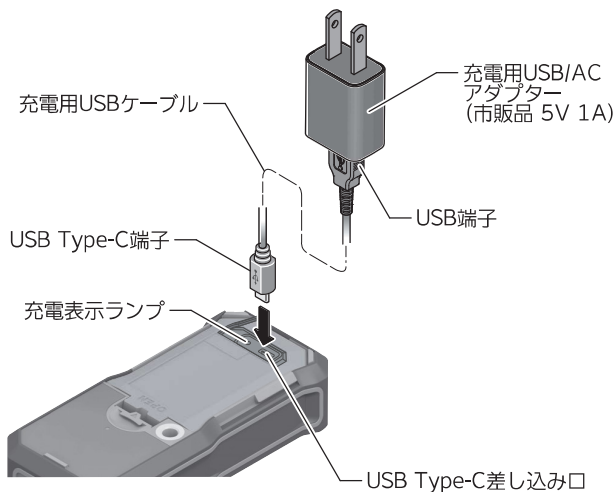
- ◆ バッテリー本体破損防止のため、必ずボッシュ純正の充電用USBケーブルを使って充電してください。
- ◆ エンジン発電機・変圧器で充電用USB/ACアダプター(市販品)を使用しないでください。
- ◆ 電源に100Vが確実に供給されていることを確認してください。
特に、延長ケーブルを使用するときは、必ず事前に確認してください。

☞ リチウムイオンバッテリーはその寿命を縮めることはなく、いつでも充電が可能です。充電を途中でやめてもバッテリーを傷めることはありません。

☞ リチウムイオンバッテリーは、レーザー距離計本体に取り付けられていても、いなくても充電できます。

充電用USB/ACアダプター(市販品 5V 1A)を使用するか、充電用USBケーブルのUSB側を直接パソコン等のUSBポートに差し込んで充電してください。

ここでは、充電用USB/ACアダプター(市販品)を使用する場合の手順を記載します。



1. 充電用USB/ACアダプター(市販品)の電源プラグを100V電源コンセントに差し込みます。
2. 充電用USB/ACアダプター(市販品)に充電用USBケーブルのUSB端子をまっすぐに差し込みます。

3. 充電用USBケーブルのUSB Type-C端子をUSB Type-C差し込み口にまっすぐ差し込みます。

充電中、リチウムイオンバッテリーの充電表示ランプが黄色に点灯します。充電が完了すると、ランプは緑の点灯に変わります。ランプが赤く点灯する場合は、充電不良です。

充電中、電池残量表示cも点灯しますが、充電状態と連携していません。リチウムイオンバッテリーの充電表示ランプで確認してください。

 充電用USBケーブルを接続するためのUSB Type-C差し込み口は、リチウムイオンバッテリーの端子接続部カバーを開くとあります。

4. 充電が終わったら、充電用USB/ACアダプター（市販品）の電源プラグを電源コンセントから抜きます。

5. 充電用USBケーブルのUSB Type-C端子をリチウムイオンバッテリー本体から抜きます。

6. 充電用USB/ACアダプター（市販品）から充電用USBケーブルのUSB端子を抜きます。

 バッテリーは出荷時に多少充電されていますが、初めて使用される場合は、バッテリーをフル充電し、完全に充電されたことを確認してください。

 充電中、リチウムイオンバッテリー本体が熱くなりますが、異常ではありません。

 ボッシュ純正の充電用USBケーブル以外で充電しないでください。

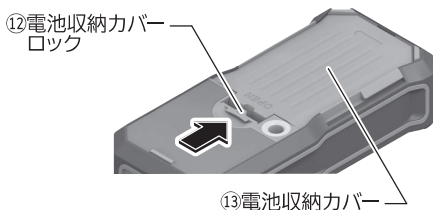
 電池残量表示cの右端のセグメントが点滅している場合は、残りわずかな測定しかできません。セグメントの周りのフレームが点滅している場合は、それ以上測定できません。充電してください。

 パソコン等のUSBポートから充電する場合、供給電力によっては充電時間が著しく長くなる可能性があります。

 リチウムイオンバッテリー充電中はレーザー距離計は起動しません。

取り付け

1. 電池収納カバーロック⑫を矢印の方向に押し、電池収納カバー⑬を取り外します。



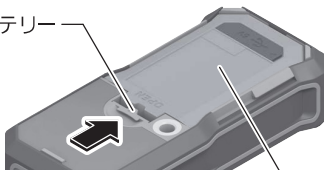
2. 電池が入っている場合は、電池を取り外します。
3. リチウムイオンバッテリーのツメを本体の凹部に差し込み、リチウムイオンバッテリーを上から押し込んで取り付けます。

- 👁 電池残量が少なくなると、ディスプレイ④に「バッテリーセーブモード」を“入”にするよう、メッセージが表示されます。
「バッテリーセーブモード」を“入”にすると、稼働時間が延長されます。
また、ディスプレイ④の電池残量表示cの輪郭が緑色になります。
- 👁 電池残量表示cが□になってから、数回測定ができます。
- 👁 電池残量表示cの□が赤く点滅したら、測定できません。バッテリーを充電してください。

取り外し

リチウムイオンバッテリーロックを矢印の方向に押し、リチウムイオンバッテリーを取り外します。

リチウムイオンバッテリー
ロック



リチウムイオンバッテリー

● 三脚に取り付ける(三脚を使用して測定するときのみ)

長い距離を測定する場合は三脚を使用します。
本体下部に装備された1/4"ネジ穴④を使用して、別売アクセサリーの三脚または市販の写真撮影用三脚に本体を取り付けます。



作業する



警告

- ◆ レーザー光を直接のぞかないでください。
- ◆ レーザー光が他人や動物、自分に向いていないことを確かめて、本機を設置してください。



注意

- ◆ 本機を水分や直射日光から保護してください。
- ◆ 極度に温度の高いまたは低い環境、極度に温度変化のある場所では使用しないでください。
- ◆ 本機に強い衝撃を与えたり、落としたりしないでください。

- ☞ 測定するときは、受光レンズ⑮、およびレーザー出力部⑯に何も被さっていないことを確認してください。
- ☞ 測定中は本機を動かさないでください。(連続モードは除く)
このため、本機はできるだけ測定点上に当てるようにしてください。
- ☞ 測定はレーザー光の中心が対象になります。これは対象物に対して斜めに照準された場合も同様です。
- ☞ 測定範囲は、使用環境の明暗度および照準対象面からの反射特性により異なります。日光照射の強い屋外で作業を行う際には、レーザーメガネおよびターゲットパネルを使用するか、照準対象面に影を当てるとレーザー光が見やすくなります。
- ☞ 透明な表面(ガラス、水面など)および鏡表面を対象物にして測定を行った場合、正しく測定されないことがあります。
同様に穴があいている表面や、凹凸のある表面、温度差のある空気層、間接的な反射光の受光などが測定誤差の原因となることがあります。これらの現象は物理的原因によるものであり、本機でのお取り扱いによりこれらの問題を解消することはできません。
- ☞ レーザー光を照射したまま、本機から離れないでください。
- ☞ 航空機内、病院内など無線通信に制限がある場所では、それぞれの指示に従ってください。

1 電源を入れる

スイッチの入/切

入:「電源ボタン⑧」または「測定スタートボタン⑤」を押します。

「電源ボタン⑧」で電源を入れた場合は、レーザー光は照射されません。

「測定スタートボタン⑤」で電源を入れた場合には、レーザー光が照射されます。

 電源を入れたときは、ディスプレイ④にメイン画面が表示されます。

切:「電源ボタン⑧」を長押しします。

 保存されている測定値および基本項目の設定は、電源を切っても記憶されています。



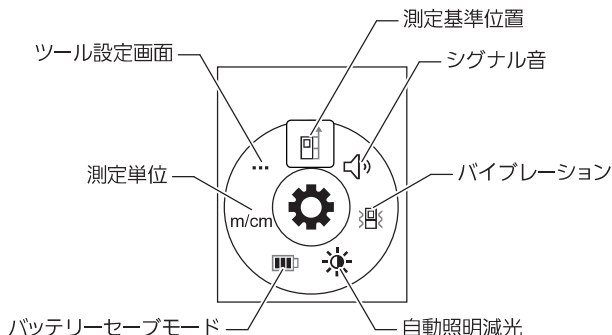
 ご購入後、初めて電源を“入”にすると、ディスプレイ④に表示する言語を選択するように、メッセージが表示されます。

2 基本機能項目を設定する

測定基準位置や測定単位、操作音などが設定できます。

設定した項目は、本機の電源を切っても保持されます。

<機能設定画面>



1. 「設定ボタン⑦」を押して、機能設定画面に切り替えます。
2. 「加算ボタン⑥」または「減算ボタン②」を繰り返し押して、設定項目を選択します。
3. 「測定スタートボタン⑤」または、「機能ボタン③」を押して、選択を確認します。
4. 必要な項目について、2、3項を繰り返します。

 基本機能項目の設定を終了するときは、「電源ボタン⑧」を押してください。

測定基準位置

測定基準位置は“本体の後方端部”“本体の前方端部”“1/4”ネジ穴”から選択できます。

シグナル音

シグナル音を鳴らすか鳴らさないかを選択します。

バイブレーション

バイブレーションの“入”“切”を選択します。

バイブレーション機能は、周囲が騒がしい時に役立ちます。

測定が完了した場合は、短く2回振動します。

測定エラーの場合は、長く振動します。

自動照明減光

自動照明減光の“入”“切”を選択します。

“入”にすると、約20秒間何も操作をしないときに、自動的にディスプレイ④の照度が減光されます。

バッテリーセーブモード

バッテリーセーブの“入”“切”を選択します。

“入”にすると、バッテリーの消耗を防ぐことができます。

バッテリーセーブモードを“入”にした場合、シグナル音とバイブレーション機能は使えません。また、ディスプレイ照度は低くなります。

m/cm 測定単位

測定する長さの単位を選択します。

基本設定は“m”です。

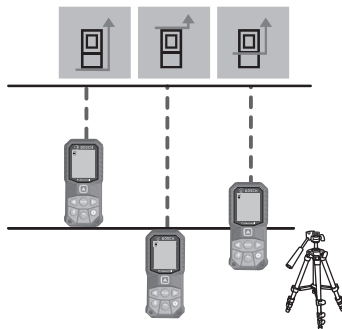
... ツール設定画面

言語設定など、本機の基本設定をするツール設定画面へ移動します。

3 基準位置を設定する

測定基準位置は、下記の3個所から選択できます。

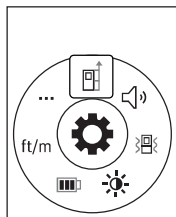
● 本体の後方端部 ● 本体の前方端部 ● 1/4"ネジ穴



電源を入れた直後は、後方端部が基準位置になっています。

一度任意の基準位置に設定した後は、基準位置を変更するか電源を切らない限り、同じ基準位置で測定されます。

1. 「設定ボタン⑦⚙️」を押して、機能設定画面に切り替えます。
2. 「加算ボタン⑥▶️」または「減算ボタン②◀️」を繰り返し押して、「測定基準位置📐」を選択します。



3. 「測定スタートボタン⑤」または、「機能ボタン③」を押して、選択を確定します。

本体の後方端部

本体を壁などに押し当てて、向かい側の壁までの距離を測定するときに選択します。

本体の前方端部

テーブルの角などから測定するときに選択します。

1/4"ネジ穴

三脚を使用して測定するときに選択します。

基準位置(点)はネジ穴の中心になります。

4 測定モードを選択する

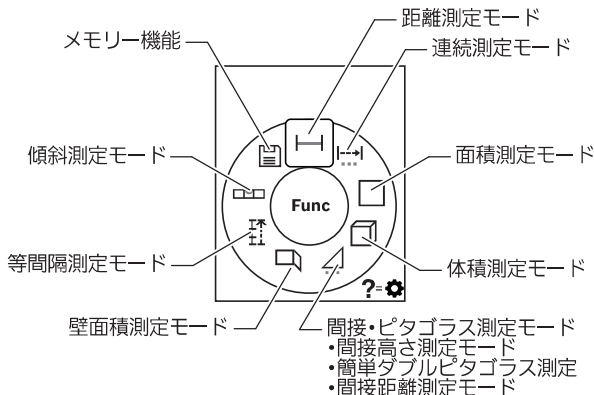
測定モードは、下記から選択できます。

- 距離測定モード 
- 連続測定モード 
- 面積測定モード 
- 体積測定モード 
- 間接・ピタゴラス測定モード(サブ3種) 
- 壁面積測定モード 
- 等間隔測定モード 
- 傾斜測定モード 

電源を入れた直後は、距離測定モードが選択されています。

一度任意の測定モードに設定した後は、モードを変更するか電源を切らない限り、設定したモードのままで測定されます。

<測定モード画面>



1. 「機能ボタン③ $\text{\textcircled{Func}}$ 」を押して、測定モード画面に切り替えます。
2. 「加算ボタン⑥ $\text{\textcircled{+}}$ 」または「減算ボタン② $\text{\textcircled{-}}$ 」を繰り返し押して、測定モードを選択します。
3. 「機能ボタン③ $\text{\textcircled{Func}}$ 」を押して、測定モードを確定します。

連続測定モードと間接・ピタゴラス測定モードのときは、サブメニューに進みますので、同様にサブモードを選択して確定します。

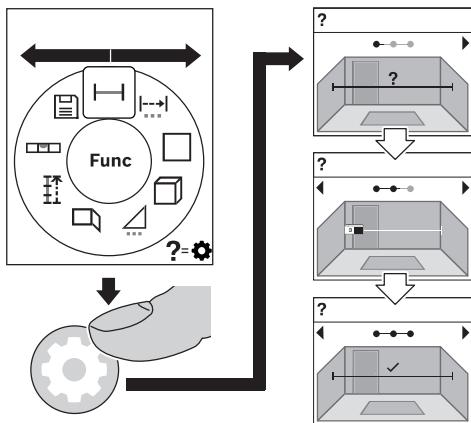
「連続測定モード」のサブメニュー

●min/max ●拡大文字 ●テープメジャー
(41ページ「表示方法」参照)

「間接・ピタゴラス測定モード」のサブメニュー

●間接高さ測定 ●簡単ダブルピタゴラス測定 ●間接距離測定
(45ページ「間接・ピタゴラス測定する」参照)

- ☞ 測定モードを確定したあと、「設定ボタン⑦(⚙)」を押すと、測定作業の内容がアニメーションで表示されます。



4. 再度「機能ボタン③(Func)」を押すと、測定モード選択画面が閉じてメイン画面に戻ります。

5 測定する



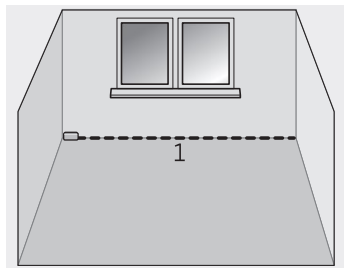
警告

- ◆ レーザー出力部⑯が他人や動物、自分に向いていないことを確かめてから、レーザー光を照射させてください。

- ☞ 照射後、約20秒以上測定を行わないと、レーザー光は自動的に切れます。切れてしまったときは、再度「測定スタートボタン⑤(▶)」を押すと照射されます。

距離を測定する H

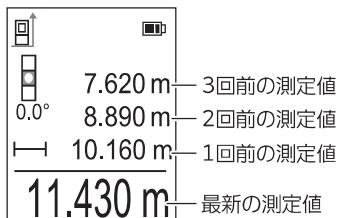
距離を求めます。



1. 「測定スタートボタン⑤
」を押して、レーザー光を照射させます。2. 選択した基準位置を測定開始点に合わせ、レーザー光を目標面に当てます。
3. 「測定スタートボタン⑤
」を押して測定します。
測定が完了すると、レーザー光は自動的に切れます。

測定が完了すると、測定値がディスプレイ④の測定結果表示eに表示されます。

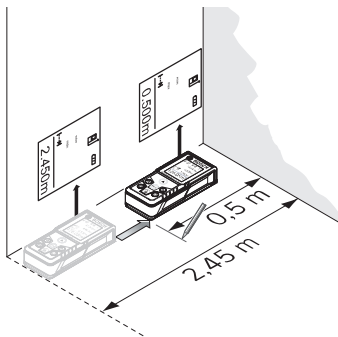
測定を繰り返し続けると、測定結果表示eに最新の測定結果が表示され、測定値表示dに過去の測定値が表示されます。



連続測定する

照準点を基準に本機を移動させながら、連続して距離を測定します。

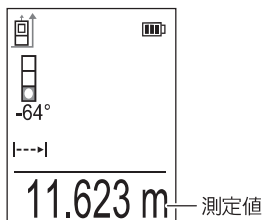
連続測定モードでは、約4分間何も操作しないと電源が切れます。



1. 「測定スタートボタン⑤」を押して、レーザー光を照射させます。
2. 選択した基準位置を測定開始点に合わせ、レーザー光を目標面に当てます。

測定値は0.5秒ごとに更新されます。

ディスプレイ④の測定結果表示eに希望する距離が表示されるまで、本機を移動させてください。



☞ 連続測定を中断したいときは、「測定スタートボタン⑤」を押してください。

レーザー光が切れ、その時点での測定値がディスプレイ④に表示されます。再度、「測定スタートボタン⑤」を押すと、連続測定を新たに開始します。

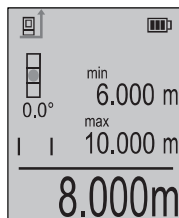
表示方法

連続測定では、測定値の表示を下記の3つから選択することができます。

(36ページ「④測定モードを選択する」参照)

min/max

ディスプレイ④の測定結果表示eに現在の測定値、測定値表示dに最大値と最小値が表示されます。



拡大文字

ディスプレイ④の全体に、現在の測定値が大きな文字で表示されます。

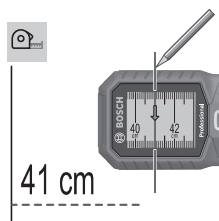


テープメジャー

ディスプレイ④がメジャー(目盛)表示になります。

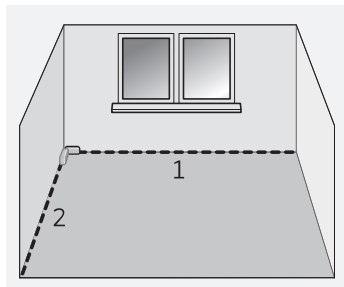
測定対象点からの距離がディスプレイ上に表示されます。

この際の測定基準点は、ディスプレイ上の目盛りになります。



面積を測定する □

長さで幅を測定して面積を求めます。



1. 「測定スタートボタン⑤」を押して、レーザー光を照射させます。
2. 選択した基準位置を測定開始点に合わせ、レーザー光を長さの目標面に当てます。
3. 「測定スタートボタン⑤」を押して長さを測定します。
測定が完了すると、長さの測定値がディスプレイ④の測定値表示d上段に表示されます。
4. 続けて、レーザー光を幅の目標面に当てます。
 長さの測定が終わっても、レーザー光は照射されたままになっています。

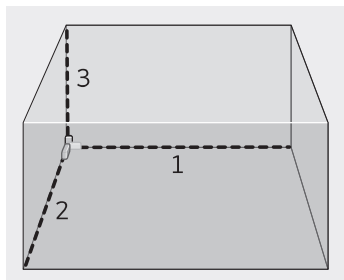
5. 「測定スタートボタン⑤
」を押して幅を測定します。
測定が完了すると、レーザー光は自動的に切れます。

測定が完了すると、幅の測定値がディスプレイ④の測定値表示d下段に表示されます。面積の測定値はディスプレイ④の測定結果表示eに表示されます。



体積を測定する

長さ、幅、高さを測定して、体積を求めます。



1. 「測定スタートボタン⑤
」を押して、レーザー光を照射させます。
2. 選択した基準位置を測定開始点に合わせ、レーザー光を長さの目標面に当てます。
3. 「測定スタートボタン⑤
」を押して長さを測定します。
測定が完了すると、長さの測定値がディスプレイ④の測定値表示d上段に表示されます。

4. 続けて、レーザー光を幅の目標面に当てます。

☞ 長さの測定が終わっても、レーザー光は照射されたままになっています。

5. 「測定スタートボタン⑤」を押して幅を測定します。

測定が完了すると、幅の測定値がディスプレイ④の測定値表示d中段に表示されます。

6. 続けて、レーザー光を高さの目標面に当てます。

☞ 幅の測定が終わっても、レーザー光は照射されたままになっています。

7. 「測定スタートボタン⑤」を押して高さを測定します。

測定が完了すると、レーザー光は自動的に切れます。

測定が完了すると、高さの測定値がディスプレイ④の測定値表示d下段に表示されます。体積の測定値はディスプレイ④の測定結果表示eに表示されます。



間接・ピタゴラス測定する

何らかの障害物にレーザー光が遮られ、直接の測定が行えない場合や、反射に適した対象物がない場合、辺測定することで、値を出すことができます。

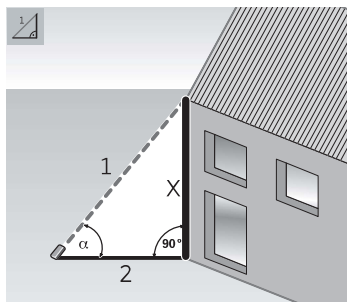
正確な測定結果を得るためには、レーザー光と求めようとする距離が、完全に直角を成す必要があります。(三平方の定理)

 間接・ピタゴラス測定モードで算出された距離は、距離測定モードで直接測定した距離より精度が落ちます。また、対象物によっては測定誤差が大きくなる可能性があります。測定精度を向上させるには、三脚を使用してください。

間接高さ測定

右の例で、距離Xを求めようとした場合、辺1を測定します。

辺2と辺Xは直角である必要があります。



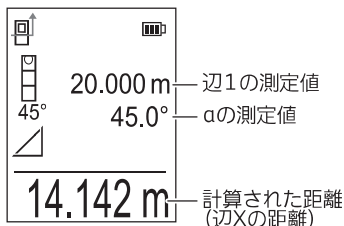
1. 本体を求めたい距離Xの最下位点と同じ高さに置きます。
 2. 「測定スタートボタン⑤
- 本機を辺Xの下の子と水平に置き、測定基準位置を中心に本機を傾けます。

4. 「測定スタートボタン⑤

測定が完了すると、辺1と傾斜角度 α の測定値がディスプレイ④の測定値表示dに表示されます。

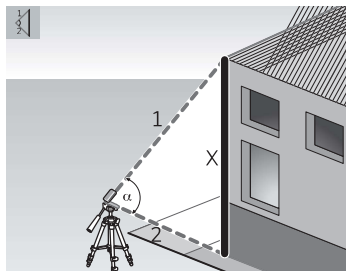
辺Xの距離は、ディスプレイ④の測定結果表示eに表示されます。

測定が完了すると、レーザー光は自動的に切れます。



簡単ダブルピタゴラス測定

右の例で、距離Xを求めようとした場合、辺1、2を測定します。

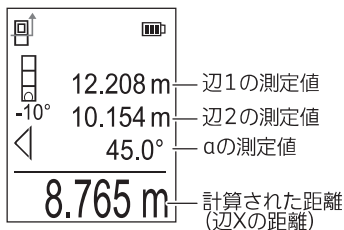


1. 「測定スタートボタン⑤ 辺1の測定が終わっても、レーザー光は照射されたままになっています。

5. 「測定スタートボタン⑤

-  辺1を測定したときの測定基準位置と、同一の位置で測定してください。
測定基準位置がずれると、正確な値を得ることができません。

辺2の測定が完了すると、
辺2と傾斜角度 α の測定値
がディスプレイ④の測定
値表示dに表示されます。
辺Xの距離は、ディスプレ
イ④の測定結果表示eに
表示されます。
測定が完了すると、レーザ
ー光は自動的に切れます。

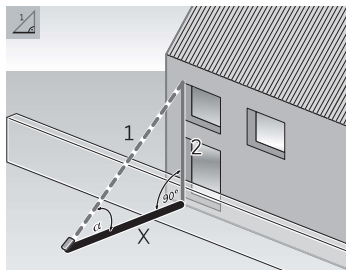


-  測定基準点の位置が各測定時で同じ位置になっていると、より正確な測定結果が得られます。

間接距離測定

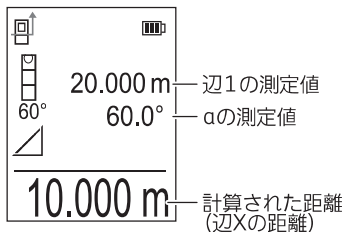
右の例で、距離Xを求めようとした場合、辺1を測定します。

辺2と辺Xは直角である必要があります。



1. 本体を求めたい距離Xの最下位点と同じ高さに置きます。
2. 「測定スタートボタン⑤」を押して、レーザー光を照射させます。
3. レーザー光を辺1の目標面に当てます。
本機を距離を求める方向に水平に置き、測定基準位置を中心に本機を傾けます。
4. 「測定スタートボタン⑤」を押して、辺1の距離を測定します。

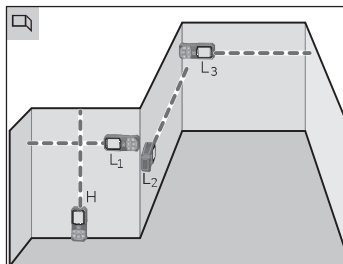
測定が完了すると、辺1と傾斜角度 α の測定値がディスプレイ④の測定値表示dに表示されます。
辺Xの距離は、ディスプレイ④の測定結果表示eに表示されます。
測定が完了すると、レーザー光は自動的に切れます。



壁の総面積を測定する

同じ高さの、数面の壁の総面積を測定することができます。

例では、部屋の高さHが同じで幅Lが異なる3つの壁面積の合計を求めます。



1. 「測定スタートボタン⑤」を押して、レーザー光を照射させます。
2. レーザー光を高さHの目標面に当てます。
3. 「測定スタートボタン⑤」を押して、高さHを測定します。
測定が完了すると、測定値がディスプレイ④の測定値表示dの上段に表示されます。
4. レーザー光を一面目の壁の幅L1の目標面に当てます。
 高さHの測定が終わっても、レーザー光は照射されたままになっています。
5. 「測定スタートボタン⑤」を押して、幅L1を測定します。

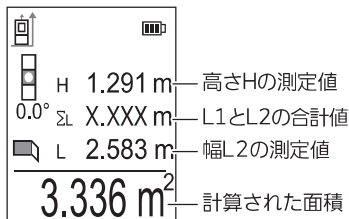
測定が完了すると、幅L1の測定値がディスプレイ④の測定値表示dの下段に表示されます。
壁の面積は、ディスプレイ④の測定結果表示eに表示されます。
6. 続けて、レーザー光を二面目の壁の幅L2の目標面に当てます。
 一面目の壁の測定が終わっても、レーザー光は照射されたままになっています。

7. 「測定スタートボタン⑤

測定が完了すると、幅L2の測定値がディスプレイ④の測定値表示dの下段に表示されます。

測定値表示dの上段には高さHの測定値、中段には幅L1とL2の測定値の合計が表示されます。

壁の面積の合計は、ディスプレイ④の測定結果表示eに表示されます。



8. 同様の手順で三面目の壁の幅L3を測定します。

 レーザー光を切るまで、同様の手順で数面の壁の総面積を測定できます。

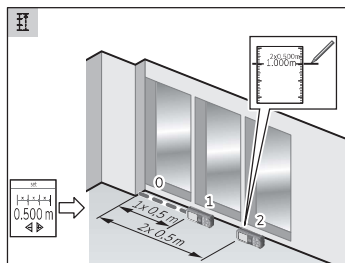
9. 「測定スタートボタン⑤

等間隔測定する

あらかじめ設定した長さを繰り返し測定できます。

材料を同じ長さに切断したり、等間隔に柱を立てたりするときに使用します。

 設定できる長さは、0.1～50mです。

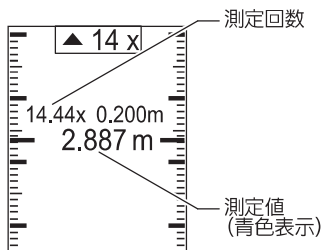


設定したい長さは、まず「測定スタートボタン⑤

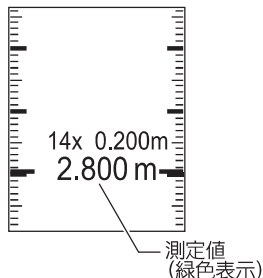
ディスプレイ④には測定開始点からの距離が表示されます。

1. 「測定スタートボタン⑤

測定開始点からの距離が連続して測定され、設定した長さ与实际に測定された距離がディスプレイ④に表示されます。



目標位置に到達すると、測定値が緑色になります。目標位置がディスプレイ表示範囲外の場合は、測定値が青色になります。上の段の左の値は、設定長さを何回測定したかを示します。



3. 「測定スタートボタン⑤

- 51 -

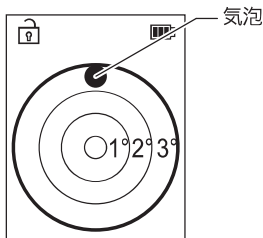
傾斜を測定する

傾斜の角度を測定したり、水準器として使用したりできます。
本機の向きによってディスプレイ④の表示が自動的に切り替わります。

本機を下面を下にして置くと、水準器として使用できます。

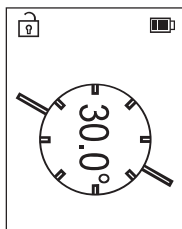
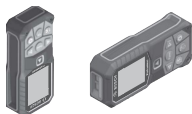


 傾斜が 3° 以上あるときは、気泡が赤く点灯します。



本機を左側面または底面 (受光レンズ⑮面) で立てて置くと、ディスプレイ④が傾斜測定画面になります。

いずれの場合も、本体の左側面が傾斜角度の基準になります。

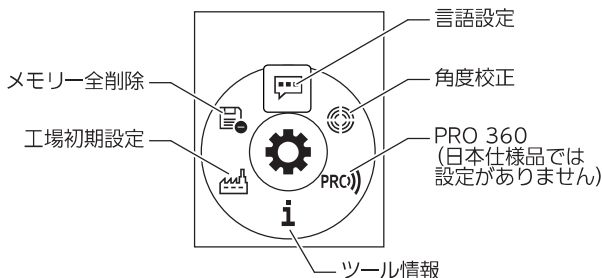


● 基本項目を設定する

表示言語など本体の基本設定ができます。

設定した項目は、本機の電源を切っても保持されます。

<ツール設定画面>



1. 「設定ボタン⑦⚙️」を押して、機能設定画面に切り替えます。
2. 「加算ボタン⑥▶️」または「減算ボタン②◀️」を繰り返し押して、「ツール設定画面...」を選択します。
3. 「測定スタートボタン⑤▶️」または、「機能ボタン③Func」を押して、選択を確定します。
4. 「加算ボタン⑥▶️」または「減算ボタン②◀️」を繰り返し押して、設定項目を選択します。
5. 「測定スタートボタン⑤▶️」または、「機能ボタン③Func」を押して、選択を確定します。
6. 必要な項目について、4、5項を繰り返します。

🔋 基本項目の設定を終了するときは、「電源ボタン⑧🔌」を押してください。

言語設定

表示する言語を選択します。

角度校正

傾斜測定 of 精度チェック時に、チェック数値の差が 0.3° 以上の場合は校正してください。

PRO) PRO 360

日本仕様では機能がありません。

ツール情報

本機のツール情報を表示します。

工場出荷時設定

本機の各種設定を、工場出荷時の設定に戻すことができます。

メモリー全削除

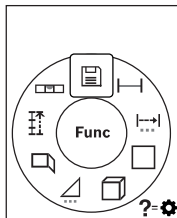
保存した全ての測定値を削除します。

● 保存された測定値を呼び出す・削除する

本機は、自動的に最新30件の測定値と計算結果を保存しています。

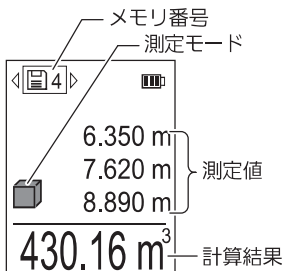
測定値の呼び出し

1. 「機能ボタン③」を押して、測定モード選択画面に切り替えます。
2. 「加算ボタン⑥」または「減算ボタン②」を繰り返し押して、「メモリー機能」を選択します。



3. 「測定スタートボタン⑤」または、「機能ボタン③」を押して、選択を確定します。

ディスプレイ④にメモリー番号(1～30)と、そのメモリー番号に保存されている測定値や測定モードが表示されます。



4. 「加算ボタン⑥」または「減算ボタン②」を繰り返し押して、呼び出したいメモリー番号を選択します。
「加算ボタン⑥」を押すとひとつ新しい測定値と計算結果が、「減算ボタン②」を押すとひとつ古い測定値と計算結果が表示されます。
最古の値はメモリー番号“1”に保存されています。
最新の値はメモリー番号“30”に保存されています(30件保存されている場合)。既に30件の値が保存されていると、測定するたびにメモリー番号“1”の値が消去され“30”に最新の値が保存されます。

特定の測定値を削除する

保存した測定値から、削除したい測定値を選択して削除します。

1. 前ページ「測定値の呼び出し」の手順で、削除したい測定値を選択します。
2. 「電源ボタン⑧

3. 「機能ボタン③

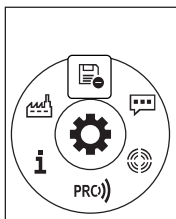
全ての測定値を削除する

1. 「設定ボタン⑦

2. 「加算ボタン⑥

3. 「測定スタートボタン⑤

4. 「加算ボタン⑥



5. 「機能ボタン③

● 測定値を加算・減算する

測定値の加算

☞ 加算されるのは、測定モード・測定単位が一致している場合のみです。

☞ 下記の組み合わせによる加算が可能です。

測定値 + 測定値

1. 加算させたい値を測定します。
2. 「加算ボタン⑥▶」を押します。
1項での測定値と“+”がディスプレイ④に表示されます。
3. 加算したい値を測定します。
測定値がディスプレイ④に表示されます。
4. もう一度「測定スタートボタン⑤▶」を押します。
最初の測定値に2番目の測定値が加算された値が、測定結果表示eに表示されます。
☞ 距離測定モードでは、3項で加算したい距離を測定すると、「測定スタートボタン⑤▶」を押さなくても加算された値が表示されます。
5. 測定値の加算を終了するときは、「機能ボタン③(Func)」を押します。
測定モードの選択画面に戻ります。

測定値の減算

☞ 減算されるのは、測定モード・測定単位が一致している場合のみです。

☞ 下記の組み合わせによる減算が可能です。

測定値－測定値

1. 減算させたい値を測定します。
2. 「減算ボタン②」を押します。
1項での測定値と“－”がディスプレイ④に表示されます。
3. 減算したい値を測定します。
測定値がディスプレイ④に表示されます。
4. もう一度「測定スタートボタン⑤」を押します。
最初の測定値に2番目の測定値が減算された値が、測定結果表示e
に表示されます。
☞ 距離測定モードでは、3項で減算したい距離を測定すると、「測定スタート
ボタン⑤」を押さなくても減算された値が表示されます。
5. 測定値の減算を終了するときは、「機能ボタン③」を押します。
測定モードの選択画面に戻ります。

他の機器へのデータ転送

Bluetooth®通信

本機は、**Bluetooth®**インターフェースを備えたモバイル端末（スマートフォン、タブレットなど）に、無線通信でデータ転送することができます。

Bluetooth®接続に必要なシステム条件については、ボッシュホームページ(<http://www.bosch.co.jp>)をご覧ください。

モバイル端末・機器用ボッシュソフトウェアは、APPストアやグーグルプレイなどでも入手できます。

1. 機能設定画面で「**Bluetooth®** (✱)」を選択します。
ディスプレイ④上部に**Bluetooth®**表示b✱（有効・未接続）が表示されます。
2. 「加算ボタン⑥▶」を押します。
3. 通信先のモバイル端末・機器の**Bluetooth®**インターフェースが有効になっていることを確認し、ボッシュソフトウェアを起動して**Bluetooth®**を認識させます。
モバイル端末・機器との接続が確立すると、**Bluetooth®**表示bが✱•（有効・接続済み）に変わります。
4. ボッシュソフトウェアで作業します。
5. **Bluetooth®**接続を切るときは、機能設定画面で「**Bluetooth®** (✱)」を選択します。
6. 「減算ボタン②◀」を押すと、**Bluetooth®**表示bが消えます。
または「電源ボタン⑧⏻」を長押しして本機の電源を切ると、**Bluetooth®**接続も切れます。

- ☞ 接続の際に有効なレーザー距離計が複数台見つかった場合は、モバイル端末・機器側で1台を選択してください。有効な距離計が1台しか見つからなかった場合は、自動的にそれが接続されます。
- ☞ 航空機内・病院内など、無線通信に制限がある場所では、それぞれの指示に従ってください。
- ☞ **Bluetooth®**によるデータ転送は、モバイル端末・機器と本機との距離や測定対象物によって、時間がかかることがあります。

Bluetooth®のマークとロゴは、Bluetooth SIG Inc.の登録商標であり、Robert Bosch Power Tools GmbHは商標使用の許諾を得てこれらを使用しています。

レーザー距離計の精度チェック

● 距離測定の精度チェック

誤って落としたり、ぶつけたりして精度が気になるときは、下記の手順で精度チェックを行ってください。

④ 測定作業後に精度比較チェックが行えるよう、すべての測定値を記録してください。

1. 距離が変化しない屋内の場所で、3～10m程度の距離を決めます。
(例えば、室内幅やドアの開孔口など)
対象物の表面は平坦で、レーザー光がよく反射するものにします。
2. 1項で決めた距離を、10回続けて測定します。
測定値の許容誤差は、 $\pm 4\text{mm}$ 以下です。

● 傾斜測定の精度チェックおよび角度校正

定期的に傾斜測定の精度チェックを行ってください。

☞ 極端な温度変化や強い衝撃を受けた場合は、精度チェックを行い、必要であれば校正してください。温度変化があった場合は、本機を温度に慣らしてから校正してください。

1. 本機を水平なテーブル上に置き、傾斜を測定します。



2. 同じ場所で本機を180°回転させ、再度傾斜を測定します。



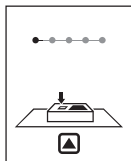
3. 本機を横向きにして同様に測定します。



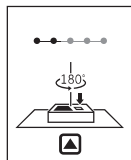
☞ 測定値の許容誤差は0.3°以下です。

4. 測定値の差が 0.3° 以上の場合は、校正が必要です。
ツール設定画面で「角度校正」を選択します。ディスプレイ④に表示される指示に従って校正してください。

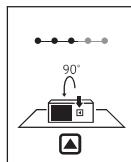
- 1) 本機を水平なテーブル上に置き、傾斜を測定します。



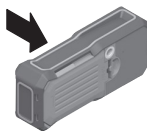
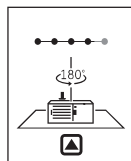
- 2) ディスプレイの指示が次に進んだことを確認して、同じ場所で本機を 180° 回転させて再度傾斜を測定します。



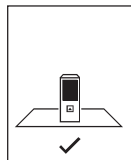
- 3) ディスプレイの指示が次に進んだことを確認して、同じ場所で本機を横向きにして、再度傾斜を測定します。



- 4) ディスプレイの指示が次に進んだことを確認して、同じ場所で本機を180°回転させて、再度傾斜を測定します。



完了



バッテリーを長持ちさせるために

- ◆ 長時間(6か月以上) 使用しない場合は、満充電にしてから保管してください。
- ◆ 満充電にしたバッテリーを、再度充電しないでください。
- ◆ 機械の力が弱くなってきたと感じた場合は使用を中止し、充電してください。

リサイクルのために

使用済みバッテリーのリサイクルにご協力ください

ボッシュは一般社団法人JBRCに加盟し、使用済みコードレス電動機械用バッテリーのリサイクルを推進しております。

恐れ入りますが使用済みのバッテリーは、ボッシュ電動工具取扱店、ボッシュ電動工具サービスセンター、またはJBRCリサイクル協力店へお持ちくださいますようお願いいたします。



【<http://www.jbrc.com>】



Li-ion

本製品は、リチウムイオンバッテリーを使用しています。リチウムイオンバッテリーは、リサイクル可能な貴重な資源です。使用済みバッテリーのリサイクル活動にご協力くださいますよう、お願いいたします。

お手入れと保管

お手入れと保管

- レーザー距離計を保管・運搬する際には、必ず付属のキャリングバッグに収納してください。
- レーザー距離計はきれいな状態を保ってください。
- レーザー距離計を水中やその他の液体中に入れないでください。
- 汚れは湿ったやわらかい布で拭き取ってください。洗浄剤や溶剤は使用しないでください。
- 受光レンズ⑤は眼鏡およびカメラレンズ等の光学機器と同等に損傷を受けやすい部品です。特に慎重にお取り扱いください。
- レンズのほこりは、吹き飛ばしてください。
- レンズには指で触れないでください。

廃 棄

本機の廃棄処分は各地域の行政が指導する方法に従って適切に処分してください。

本機を不適切に廃棄処分すると、以下のような問題が起きる恐れがあります。

- プラスチック部品を燃やすと、有毒ガスが発生し、人体に悪影響を及ぼす恐れがあります。
- 電池が損傷したり、加熱され爆発したりすると、毒物の発生、火傷、腐食、火事あるいは環境汚染の原因となることがあります。
- 本機を無責任に廃棄処分すると、製品知識の無い人が規定を守らずに使用する恐れがあります。そのため自分自身だけでなく第三者も重症を負ったり、環境汚染を起こすことがあります。

困ったときは

故障かな?と思ったら

- ① 『取扱説明書』を読み直し、使い方に誤りがないか確かめてください。
- ② 次の代表的な症状が当てはまるかどうか確かめてください。

症 状	原 因	対 処
温度警告表示が点滅して、測定ができない	本体が使用温度範囲(−10～+45℃)になっていない	測定ツールが使用温度範囲になるまで待つ
ERRORが表示される	測定値の加算／減算を行う際に、それぞれの測定値単位が異なっていた	測定単位が同じもので、加算／減算し直す(測定値の加算／減算は同一の測定単位でのみ可能です)
	対象物へのレーザー光入射角度が鋭角すぎる	対象物へのレーザー光入射角度を広げる
	測定対象物から適切な反射が得られない(水面、ガラス、黒い布など)、または周辺光が明るすぎる	レーザーターゲットプレート(別売アクセサリ)を使用する
	レーザー出力部⑩または受光レンズ⑪が曇っている	やわらかい布レーザー出力部⑩または受光レンズ⑪を拭く
	測定結果または計算結果が±999999m、m ² 、m ³ を超えた	測定面を分割して測定する

症 状	原 因	対 処
ERRORが表示される	傾斜測定 of 角度校正が正しい順序、または正しい位置で行われなかった	再度校正する
	角度校正に使用した面が、水平または垂直でなかった	水平または垂直な面で、再度校正する 必要に応じて、校正前に水準器などで面を検査する
	角度校正でボタンを押すときに、本体が動いたり傾いたりした	ボタンを押すときに、本体をしっかり押さえ、再度校正する
測定結果が不正確である	測定対象物から適切な反射が得られない（水面、ガラス、黒い布など）	照準対称面に何らかの覆いをする
	レーザー出力部⑩または受光レンズ⑪に何か被さっている	レーザー出力部⑩または受光レンズ⑪を覆っている障害物を取り除く
	測定基準位置が間違っている	測定基準位置を確認して、正しく選択する
	レーザー光が対象物に当たっていない	レーザー光を対象物に確実に当てる
Bluetooth®が有効にならない	電池残量が少ない	電池を交換する

症 状	原 因	対 処
Bluetooth®が接続できない	Bluetooth®接続に失敗する	モバイル端末のソフトウェアをチェックする
		本機とモバイル端末のそれぞれでBluetooth®が有効となっているかチェックする
		モバイル端末に負荷がかかり過ぎていないかチェックする
		本機とモバイル端末の距離を近くする
		本機とモバイル端末の間にある障害物や電磁障害を取り除く

修理を依頼するときは

- ◆ 『故障かな?と思ったら』を読んでもご不明な点があるときは、お買い求めの販売店または弊社コールセンターフリーコールまでお尋ねください。
- ◆ 修理を依頼されるときは、お買い求めの販売店またはボッシュ電動工具サービスセンターにご相談ください。
- ◆ この製品は厳重な品質管理体制の下に製造されています。万一、本取扱説明書に書かれたとおり正しくお使いいただいたにもかかわらず、不具合（消耗部品を除きます）が発生した場合は、お買い求めの販売店または、ボッシュ電動工具サービスセンターまでご連絡ください。
弊社で現品を点検・調査のうえ、対処させていただきます。お客様のご使用状況によって、修理費用を申し受ける場合があります。あらかじめご了承ください。

コールセンターフリーコール 0120-345-762

土・日・祝日を除く、午前9:00～午後5:30

※携帯電話からお掛けのお客様は、TEL.03-5485-6161をご利用ください。

コールセンターフリーコールのご利用はできませんのでご了承ください。

ボッシュ株式会社ホームページ

<http://www.bosch.co.jp>

ボッシュ電動工具サービスセンター

〒355-0813 埼玉県比企郡滑川町月輪1464番地4

TEL 0493-56-5030 FAX 0493-56-5032

ボッシュ電動工具サービスセンター西日本

〒811-0104 福岡県糟屋郡新宮町の野741-1

TEL 092-963-3486 FAX 092-963-3407

保 証 規 定

1. 保証期間はご購入日より1年間とします。
2. 製品保証対応をご依頼になる場合には、ご購入の販売店に商品と本書をご持参ご掲示いただきお申しつけください。
3. 取扱説明書等の注意書に従った正常な使用状態で保証期間内に故障した場合に限り、保証対応させていただきます。
4. 保証期間内でも次の場合には原則として有償新品交換とさせていただきます。
 - (a) 取り扱い方法、保管上に於て誤りがあった場合。
 - (b) 不当な修理や改造による故障および損傷。
 - (c) 火災、水害、地震、落雷、その他天災地変などによる故障および損傷。
 - (d) 本書のご掲示がない場合。
 - (e) 本書にお買上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合。
 - (f) 保管の不備、お手入れの不備による故障および損傷。
5. この保証書は日本国内においてのみ有効です。
6. 本書は再発行をいたしませんので、大切に保管してください。

ボツシュ株式会社 電動工具事業部

〒150-8360 東京都渋谷区渋谷3-6-7

TEL. 03-5485-6161